

平成31年度 可児市水道事業会計当初予算編成について

1 水道事業の運営方針

「安全・安心な水道水を安定的に供給する」

【経営基盤の強化】・建設コストの縮減や経常経費の節減（窓口・徴収業務などの民間委託、資産運用）などによる経営効率化の推進

【水道施設の整備更新】・水道施設の計画的な更新整備、配水施設の再編整備などによる安定した水道水の確保

【水道施設及び水道管路の耐震化の計画的な推進】

・水道施設（平成30年度 完了）及び水道管路（目標 平成43年度）の耐震化の計画的な推進

【水質管理及び災害対策】・水安全計画に基づく高いレベルでの供給水質の確保

・災害時における危機管理体制の構築と飲料水の確保

2 平成31年度当初予算編成の基本方針

平成30年7月26日付け「平成31年度当初予算編成について」で示された、「平成31年度の市政の運営方針」と「平成31年度予算編成の基本方針」に基づき、重点事業点検報告書による検証(自己点検)を実施するとともに、重点事業調書を作成することで先を見据えた計画的な予算を編成します。

下記重点事業を推進し、水道事業の運営方針に定めるとおり、安全・安心な水道水の安定的な供給に取り組みます。

【重点事業】(可児市政4つの柱と重点事業の一つ「まちの安全づくり」への貢献事業)

水道施設等耐震化事業

耐震性能が劣る配水場・ポンプ場については、平成30年度までに工業団地ポンプ場を除き耐震補強を終了した。

基幹管路（送水管および主要な配水管）については、平成26年度から平成43年度までに布設替工事を実施して耐震化を図る。

これにより、南海トラフ地震等の大規模災害時の影響被害を最小限に食い止めることができ、被災時における応急給水体制の強化を図ることができる。

平成31年度実施事業

- ・中区系基幹管路(中区配水場～大森ポンプ場)布設替工事(平成30年度からの継続事業)
- ・第2低区系送水管布設替本舗装工事

配水ブロック統廃合整備事業

配水池を集約することにより、中長期にわたる維持管理費が低減でき、水道事業の安定経営を図ることができる。

また、統廃合による管理施設の低減や、整備関連による管路の布設替の結果、南海トラフ地震等の大規模災害時における応急給水体制の強化を図ることができる。

平成31年度実施事業

- ・長坂～緑基幹管路布設替工事(緑配水ブロックを愛岐ヶ丘配水ブロックに統合・平成30年度からの継続事業)
- ・長坂～緑基幹管路布設替本舗装工事
- ・第2低区系基幹管路整備(第2低区配水場～工業団地配水池)実施設計業務

3 重点事業

重点方針	まちの安全づくり			所属	水道部 水道課										
総合計画	4	-	3	-	(1)	総合戦略	0	-	0	-	0	予算額	千円		
事業名	水道施設等耐震化事業						会計	水道	款	1	項	1	目	2	
							事業期間	終期あり 平成 26 年度 ~ 平成 43 年度							
事業の目的・最終形のイメージ	地震等災害発生時においても一定の給水を確保し、応急給水体制の強化が図られる。														
4年後に実現したい姿	基幹管路の耐震化延長を伸ばし、耐震補強が完了した施設(配水場・ポンプ場)とあわせて、被災時における応急時の飲料水確保を図る。														
対象年度に目指す事業の成果	国の補助要綱に合わせた事業進捗を図り、有利な財源にて無駄のない整備を行い、災害時の給水確保を図る。						実施内容	耐震性能が劣る施設(配水場・ポンプ場)の耐震補強工事を平成26年度から平成30年度にかけて実施し、基幹管路(送水管、配水本管)については、平成26年度から平成43年度にかけて布設替工事を実施して耐震化を図る。これにより、南海トラフ地震等の大規模災害時の影響被害を最小限に食い止めることができ、被災時における応急給水体制の強化を図ることができる。							
新規取組															
説明資料(写真・地図等)															
	指標							達成状況	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
指標	配水池耐震施設率						目標値	81.8%	100.0%						
							結果	81.8%							
指標	基幹管路耐震化布設延長						目標値	8,295 m	10,740 m	11,338 m	12,706 m	13,996 m	15,292 m	16,428 m	
							結果	6,728 m							

重点方針	まちの安全づくり			所属	水道部 水道課										
総合計画	4	-	3	-	(1)	総合戦略	0	-	0	-	0	予算額	千円		
事業名	配水ブロック統廃合整備事業						会計	水道	款	1	項	1	目	2	
							事業期間	終期あり 平成 26 年度 ~ 平成 40 年度							
事業の目的・最終形のイメージ	水道水の安定した供給と維持管理費の低減。														
4年後に実現したい姿	可児市水道事業基本計画の見直しにより、さらなる配水ブロック統廃合の可能性を探り、水道水の安定した供給と維持管理費の低減を図る。														
対象年度に目指す事業の成果	緑・愛岐ヶ丘配水ブロック統合に向けての管路布設、工業団地ポンプ場廃止および基幹管路布設替にむけての設計委託の実施。						実施内容	配水池を集約することにより、中長期にわたる維持管理費が低減でき、水道事業の安定経営を図ることができる。また、耐震性能が劣る配水池の配水ブロックを隣接する配水ブロックと統合するため、南海トラフ地震等の大規模災害時における応急給水体制の強化を図ることができる。							
新規取組															
説明資料（写真・地図等）															
	指標		達成状況	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35					
指標	目標値の設定がそぐわない事業のため、指標は設定していません		目標値												
指標			結果												
参考指標	松伏・桂ヶ丘配水ブロック統合、鳩吹台・虹ヶ丘配水ブロック統合、緑・愛岐ヶ丘配水ブロック統合、緑ヶ丘・中区ブロック統合、工業団地ポンプ場廃止			松伏・桂ヶ丘統合 鳩吹台・虹ヶ丘統合		緑・愛岐ヶ丘統合									